

# 事業評価シート（平成25年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	無形文化財保存事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②<感性> 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'04	4 価値ある歴史的遺産を守り伝える環境をつくる	
根拠法令等	文化財保護法		
対象・受益者	民俗芸能継承団体、一般市民	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
郷土芸能が継承・保存され、後継者の育成が図られています。		郷土芸能の継承と後継者の育成を図るため、民俗芸能まつりの開催、演技指導者の派遣、文楽人形伝承団体及び指定重要無形文化財の保存に対する支援等を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	民俗芸能まつりの開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	1	1	1	1	
	実績	1	1	1		
活動指標②	指標名	人形浄瑠璃芝居保存団体数			単位	団体
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	3	3	3	3	
	実績	3	3	3		
成果指標①	指標名	民俗芸能まつり参加団体数			単位	団体
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	5	5	5	5	
	実績	4	4	4		
成果指標②	指標名	民俗芸能まつり参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	450	450	450	450	
	実績	370	350	280		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
無形文化財の保存と伝承を目的として、民俗芸能継承団体の地域公演活動や後継者育成等を支援しました。また、第37回ひらつか民俗芸能まつりを11月17日(日)に中央公民館大ホールにおいて開催し、市内に守り伝えられてきた郷土の民俗芸能について、市民がふれ合う機会を創出し、文化財についての理解を深めました。						
平成25年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民ニーズ</li> <li>■ 事業目的の達成状況</li> <li>■ 市の関与の必要性</li> <li>□ その他</li> </ul>	文化財保護法に基づき、長い歴史の中で守り伝えられてきた無形文化財について理解し、郷土の民俗芸能が保存・継承され、後継者の育成につながるために公演の場や補助金等による支援の継続が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 低</li> </ul>
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上位施策への貢献</li> <li>■ 市民満足度を高める方策</li> <li>■ 継続による成果向上の可能性</li> <li>□ その他</li> </ul>	継続することが、無形文化財について市民の理解と認識の向上につながり、有効です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 低</li> </ul>
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目的、対象、内容</li> <li>■ 受益者負担、補助額</li> <li>■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担)</li> <li>□ その他</li> </ul>	本市の貴重な無形文化財の保存・継承を図ることは、郷土の文化についての理解を深め、受け継がれてきた伝統を絶やすことなく将来に引き継ぐことの大切さを周知することになり、継承団体に対する支援は妥当です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高</li> <li>○ 中</li> <li>○ 低</li> </ul>
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業務プロセス改善による効率化の方策</li> <li>■ コスト削減の可能性</li> <li>■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)</li> <li>□ その他</li> </ul>	無形民俗文化財の保存・継承のため、公演の場の提供だけでなく、その事業内容を多角的な視点から考察し、有効な運営方法や手段の検討を図っていきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高</li> <li>● 中</li> <li>○ 低</li> </ul>
<b>今後に向けた課題の分析</b> 地域伝統文化の継承に際して、継承者の高齢化や後継者育成にあたる指導者の人材不足等の課題が顕在化しており、有効な支援策や協力体制の形成を行っていくことが課題です。また、民俗芸能大会の参加人数の減少があり、民俗芸能への理解と興味の喚起や更なる積極的なPR活動を図るなどの方策が必要です。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		民俗芸能まつりの開催、補助金の交付	民俗芸能まつりの開催、補助金の交付	民俗芸能まつりの開催、無形文化財保存伝承団体への活動支援	民俗芸能まつりの開催、無形文化財保存伝承団体への活動支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	938	877	854	923
事業費 (A)		938	877	854	923
執行率 (%)		83.45	87.18	84.89	
内訳	職員 (人)	1.05	1.05	1.10	1.30
	再任用 (人)	0.15	0.15	0.10	0.05
人件費 (B)		9,014	8,927	9,084	10,330
フルコスト (A+B)		9,952	9,804	9,938	11,253

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成27年度の取組方針</b> 第39回ひらつか民俗芸能まつりの実施や、市指定重要無形文化財(3団体)・文楽人形伝承団体(3団体)に対する各団体の課題等に応じた支援を通じて、無形文化財の保存・継承を推進していきます。また、地域伝統文化の後継者育成を目指す観点からも、PR活動や周知の強化や、子どもたちへの体験事業等を通して参加者数の増加を目指します。
<b>課長コメント</b> 文化財の保存・継承のために民俗芸能団体を支援することは重要かつ不可欠なことであり、引き続き実施します。後継者の育成のため、各団体の実情を踏まえ、意見交換を交えて具体的な支援方法を検討していきたいと考えています。